

# 安芸区の現況

## 1 位置・地勢

- |              |       |       |
|--------------|-------|-------|
| (1) 安芸区の地区構成 | ..... | P.1   |
| (2) 地形       | ..... | P.2   |
| (3) 土地利用の状況  | ..... | P.3-4 |
| (4) 交通の状況    | ..... | P.5   |

## 2 人口・世帯

- |            |       |     |
|------------|-------|-----|
| (1) 人口の推移  | ..... | P.6 |
| (2) 年齢層別人口 | ..... | P.7 |
| (3) 世帯の状況  | ..... | P.8 |

## 3 産業

- |           |       |      |
|-----------|-------|------|
| (1) 産業構成  | ..... | P.9  |
| (2) 工業の特徴 | ..... | P.10 |
| (3) 商業の特徴 | ..... | P.11 |

# 1 位置・地勢

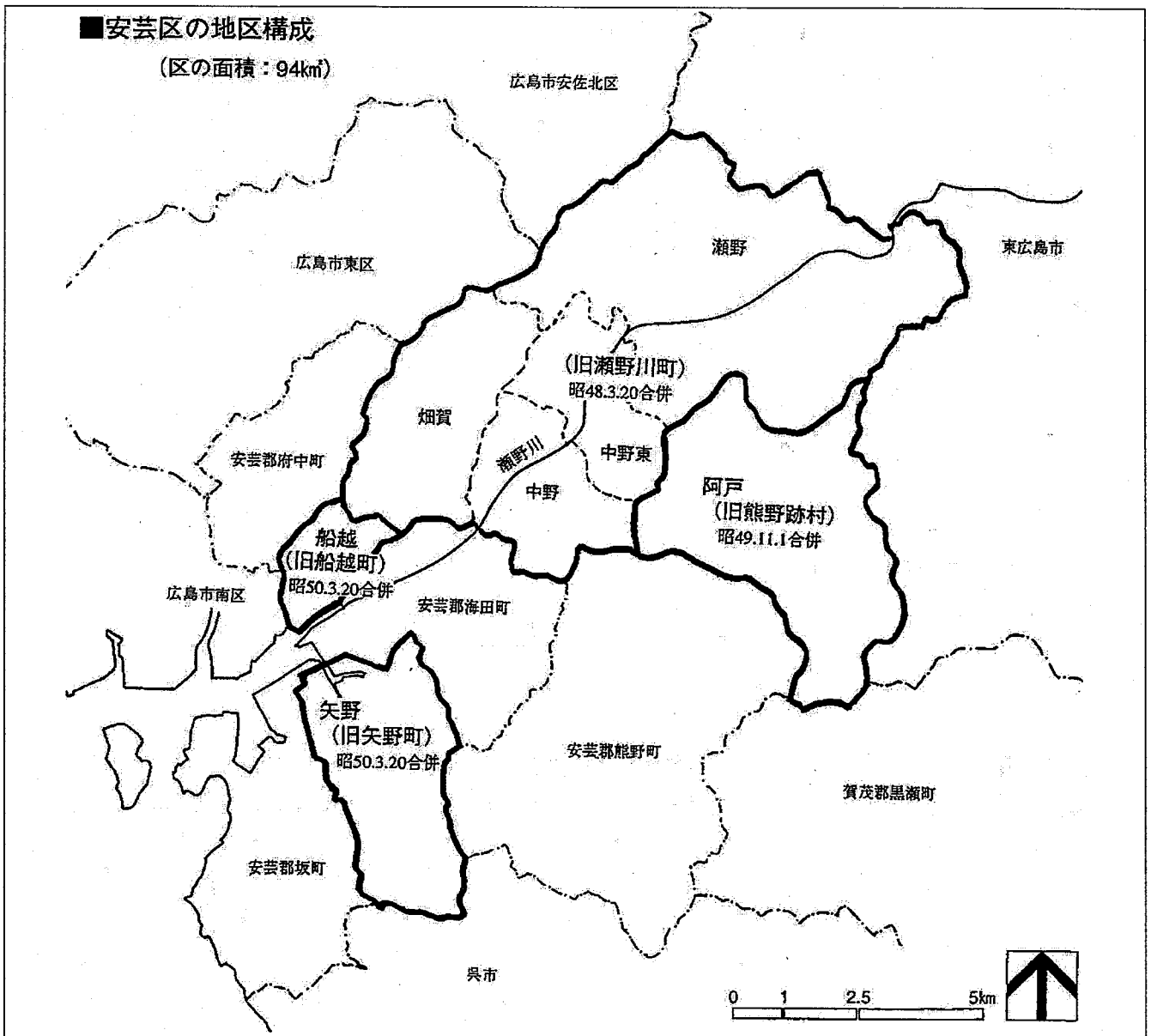
## (1) 安芸区の地区構成

### ● 合併前の旧4町を基本として構成されている

- ・ 広島市の東端に位置し、面積は8区中4番目に広い。(市全域の10.3%)
- ・ 昭和48年～50年に広島市と合併した、瀬野川町、熊野跡村(現阿戸町)、船越町、矢野町を基本として構成されている。旧瀬野川町は、さらに畑賀、中野、中野東、瀬野の4地区に分けられる。

### ● 矢野地区が飛び地になっている

- ・ 安芸郡海田町が未合併であり、矢野地区が行政区として飛び地になっている。
- ・ 隣接する南区、東区とで安芸郡府中町を取り囲んだ形となっている。



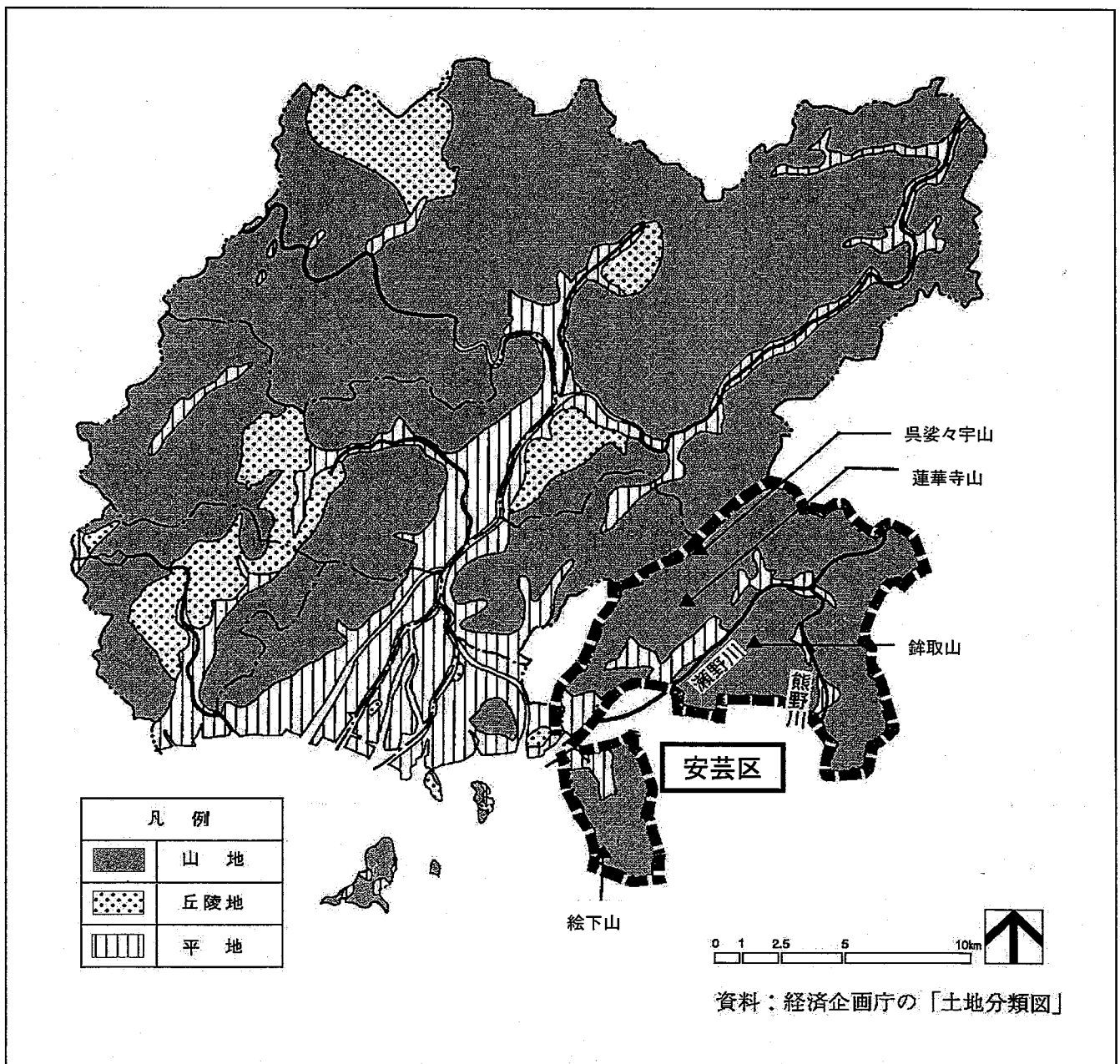
## (2) 地形

### ● 急峻な山と河川に沿った細長い谷で構成されている

- ・ 銚取山（711.5m）、絵下山（593.0m）、蓮華寺山（734.0m）、呉娑々宇山（682.2m）に代表される比較的急峻な山地が並行して北東から南西方向に連なっている。
- ・ 区の中央を瀬野川が流れ、海田湾に注いでいる。

### ● 全体に平地が少ない

- ・ 瀬野川、熊野川などの河川が流れる谷の部分に沿って、細長い平地が形成されている。瀬野川下流では海田湾を囲むように平地が形成されているが、全体的に平地は少ない。





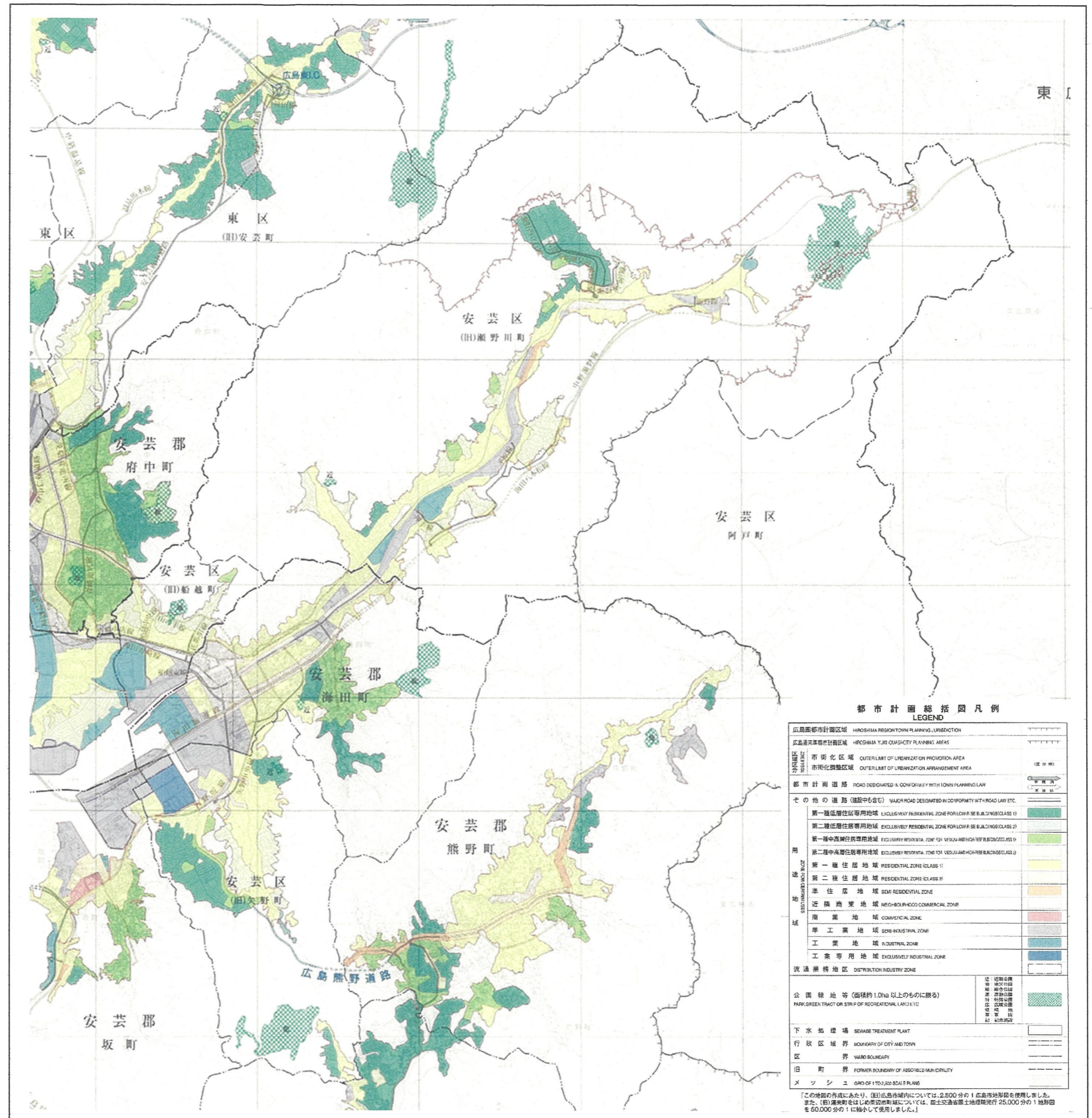
(3) 土地利用の状況

● 自然的土地利用が多い

- ・ 区の面積の約7割が山林であるほか、瀬野川のオープンスペース、阿戸地区や瀬野川地区の農地など、自然的な土地利用の占める割合が高い。

● 傾斜地に広がる市街地、海田湾を取り囲む工業地帯

- ・ 平地が少ないことから船越地区や矢野地区では密集度の高い住宅地が、中野地区から瀬野地区にかけては、瀬野川沿いの傾斜地に沿って住宅地が形成されている。
- ・ 矢野地区、瀬野地区においては大規模な住宅団地が形成され、新たな市街地が形成されている。
- ・ 工業系、商業系の施設は、埋立地を含む海田湾沿いに集積している。





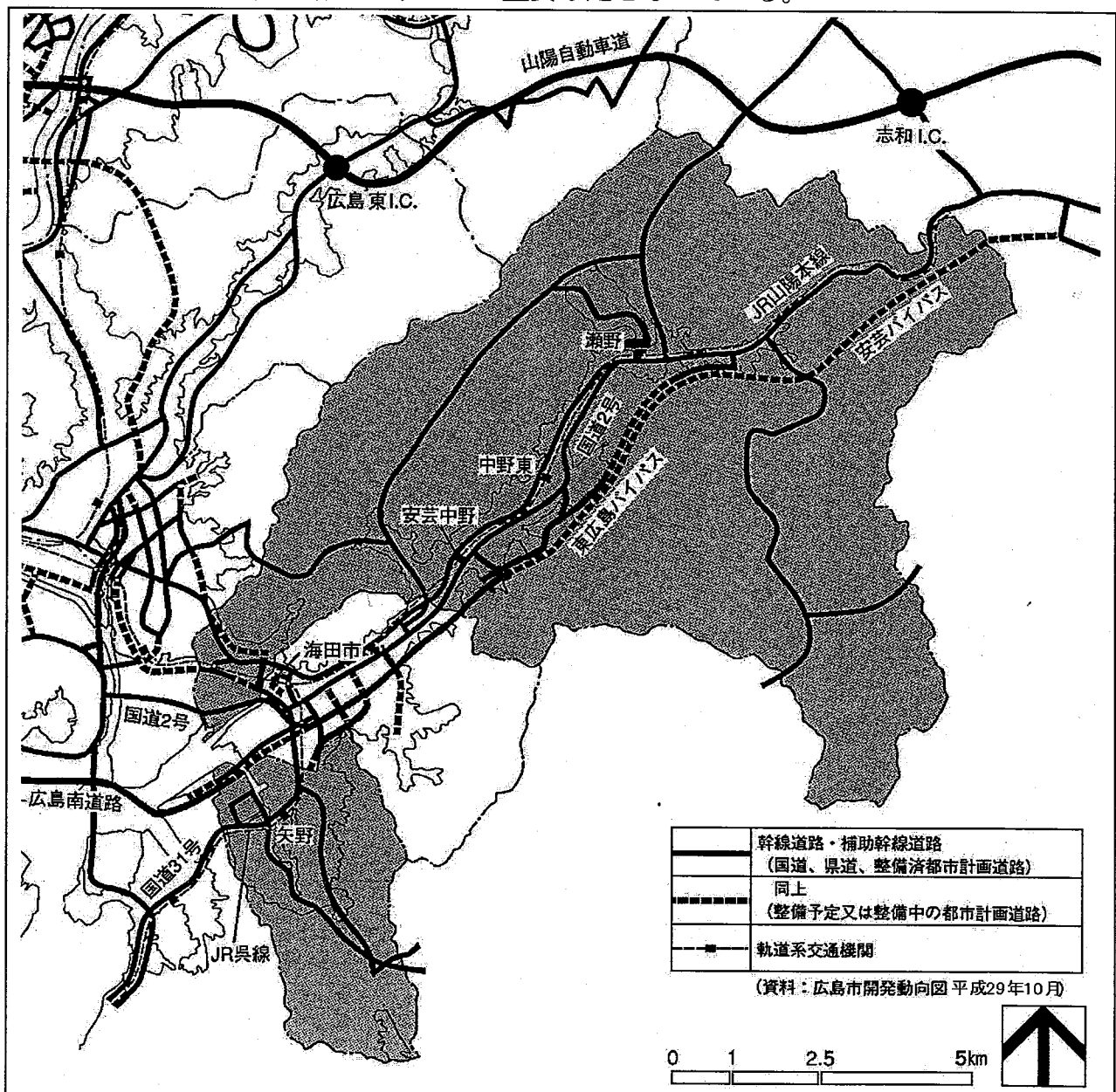
#### (4) 交通の状況

##### ● 国道2号に交通が集中している

- ・ 東広島方面と結ぶ国道2号、呉方面と結ぶ国道31号が主要な幹線道路である。
- ・ 区内各地区を横断する道路が少なく、幹線道路と生活道路が輻輳するため、交通が集中する国道2号は非常に混雑している。
- ・ 地形的な制約が要因となり、隣接する市、区、町との連絡性が良くない状況にある。
- ・ 東広島バイパス、安芸バイパスや広島南道路をはじめ、これらに関連した連絡道路網の整備が進められており、交通環境の改善が期待されている。

##### ● JR山陽本線、呉線が通る

- ・ 2本の幹線道路と併走するようにJR山陽本線、呉線が通る。混雑度が高い幹線道路とともに、通勤・通学などの重要な足となっている。



## 2 人口・世帯

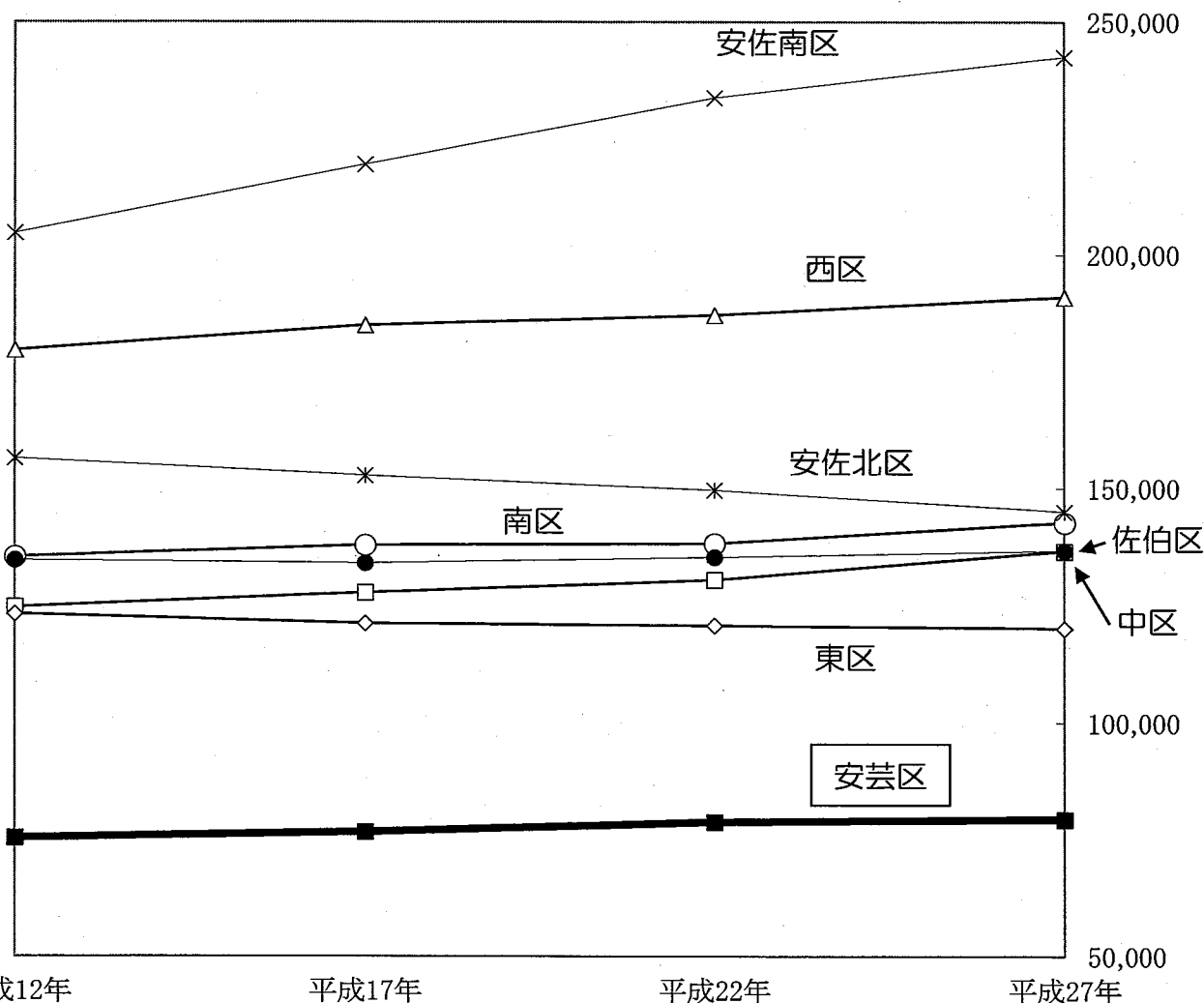
### (1) 人口の推移

#### ● 8区の中では最小の人口

- 平成27年国勢調査の安芸区の人口は7万9,353人で、漸増傾向にあるが、8区の中では最も少ない。

(単位：人)

■人口の推移（国勢調査より：各年10月1日現在）



(単位：人)

区分	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全市	1,134,134	1,154,391 ( 1.8%)	1,173,843 ( 1.7%)	1,194,034 ( 1.7%)
中区	124,719	127,763 ( 2.4%)	130,482 ( 2.1%)	136,640 ( 4.7%)
東区	123,258	121,222 (▲1.7%)	120,751 (▲0.4%)	120,155 (▲0.5%)
南区	135,467	137,874 ( 1.8%)	138,190 ( 0.2%)	142,728 ( 3.3%)
西区	179,519	184,795 ( 2.9%)	186,985 ( 1.2%)	190,929 ( 2.1%)
安佐南区	204,636	219,343 ( 7.2%)	233,733 ( 6.6%)	242,512 ( 3.8%)
安佐北区	156,387	152,716 (▲2.3%)	149,633 (▲2.0%)	145,018 (▲3.1%)
安芸区	75,435	76,656 ( 1.6%)	78,789 ( 2.8%)	79,353 ( 0.7%)
佐伯区	134,713	134,022 (▲0.5%)	135,280 ( 0.9%)	136,699 ( 1.0%)

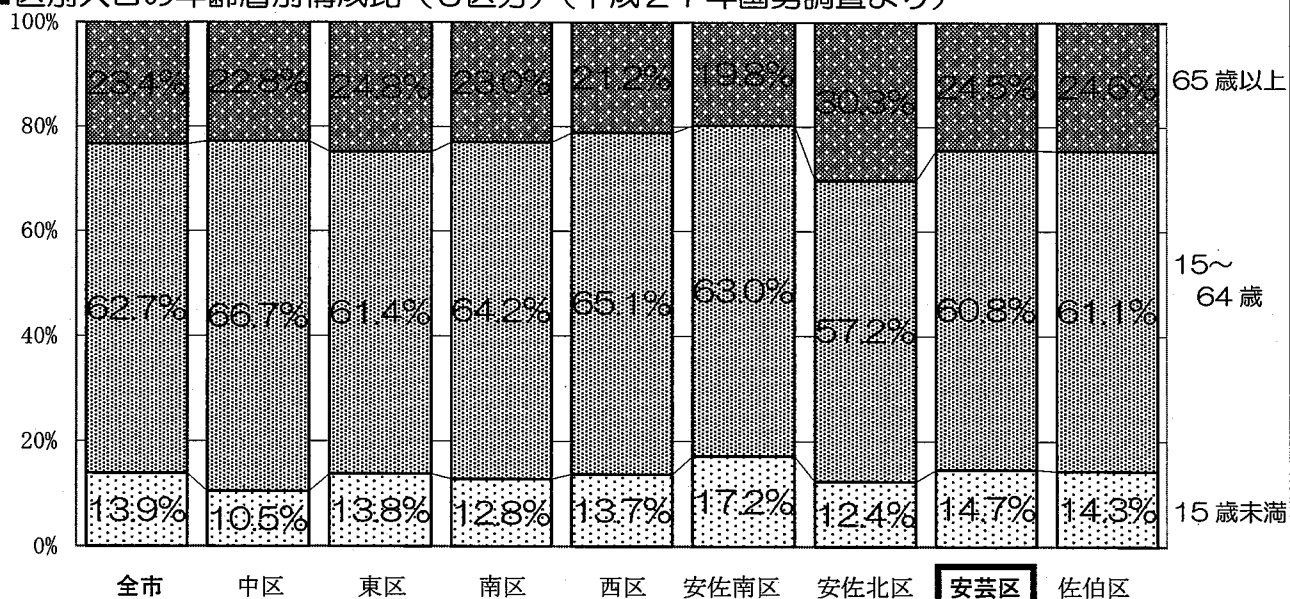
( )内は、対前回増減比

## (2) 年齢層別人口

### ● 少子・高齢化が進展

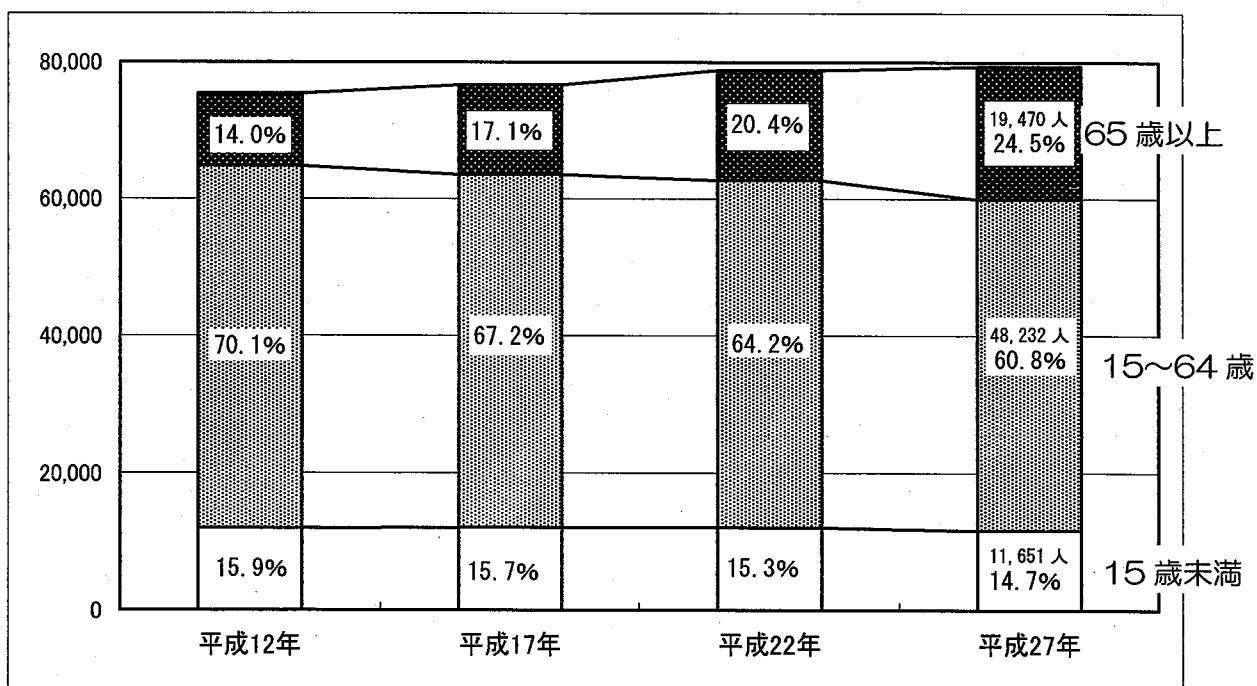
- ・ 全般的に各年齢層とも、全市平均とほぼ同じ傾向であるが、15歳未満の若年者層の割合は、旧市域の区に比べてやや多くなっている。
- ・ 平成12年から平成27年にかけての年齢層別割合をみると、全市の傾向と同じく、65歳以上の高齢者層が伸び、15歳未満の若年者層が低下している。

■ 区別人口の年齢層別構成比（3区分）（平成27年国勢調査より）



注) 少数点以下第2位で四捨五入しているため、必ずしも合計が100%となりません。

■ 安芸区人口の年齢層別構成比（年齢3区分）の推移（国勢調査より）

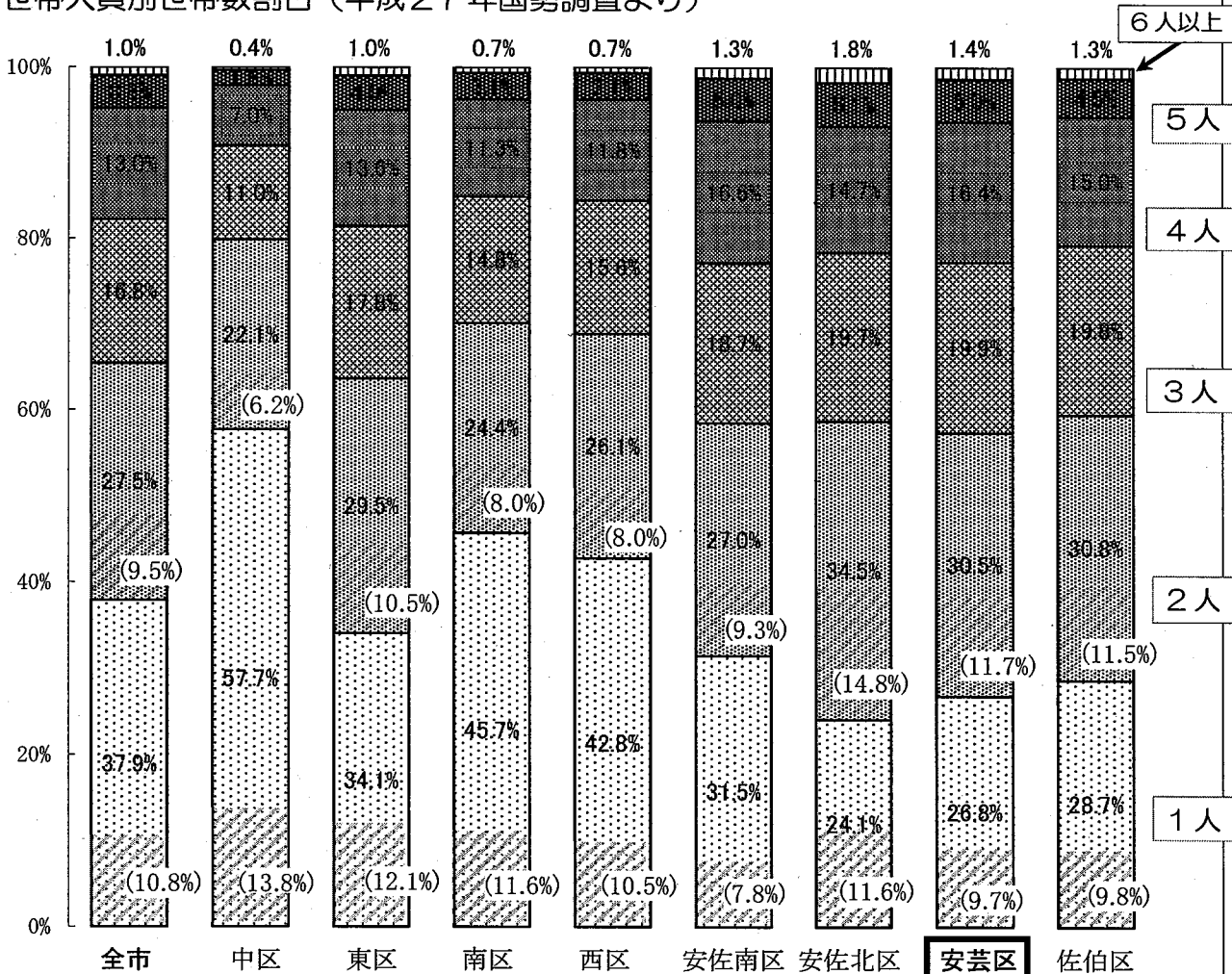


(3) 世帯の状況

● 単身世帯から4人世帯まで平均している世帯構成

- ・ 旧市域の区では、単身世帯の割合が著しく高くなっているが、安芸区では、他の新市域の区と同様に、3人~4人世帯の割合が高くなっている。

■ 世帯人員別世帯数割合 (平成27年国勢調査より)



注) 1人世帯のうち の部分は、65歳以上の1人世帯。( )内は全世帯数に占める割合。  
 注) 2人世帯のうち の部分は、夫婦とも65歳以上の世帯。( )内は全世帯数に占める割合。  
 注) 少数点以下第2位で四捨五入しているため、必ずしも合計が100%となりません。



### 3 産 業

#### (1) 産業構成

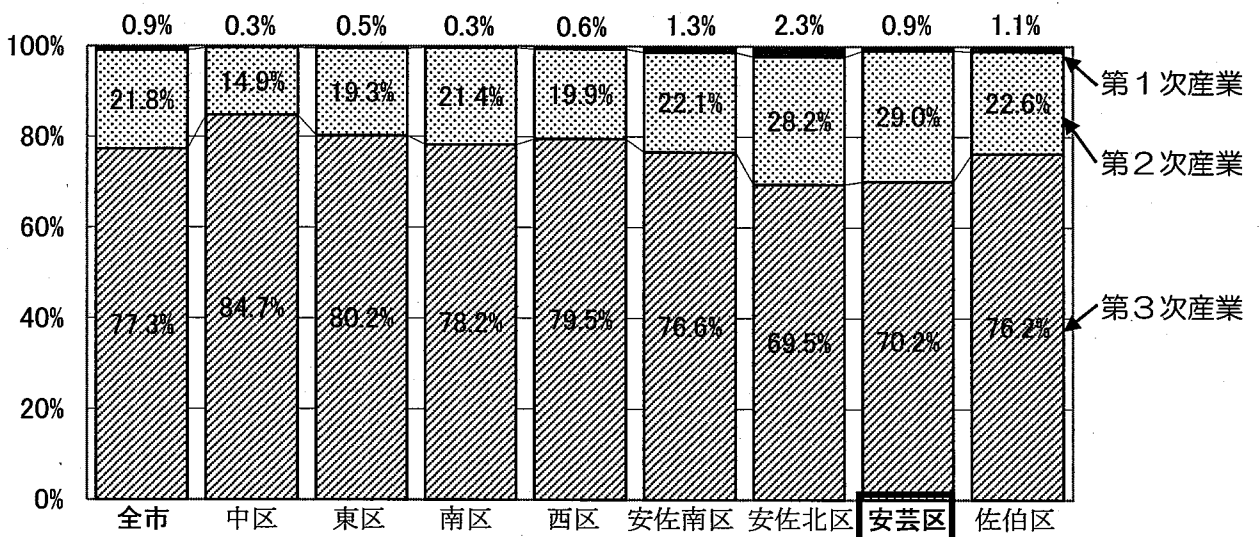
##### ● 第2次産業で働く人が多い

- ・ 安芸区内で働く人は、第2次産業（工業・建設業）で働く人の比率が8区中最も高く、第1次産業（農林水産業）の割合は安佐北区、安佐南区、佐伯区に次いで高い。
- ・ 第3次産業（商業・サービス業）で働く人の割合は安佐北区に次いで低い。

##### ● 区外への通勤者が多い

- ・ 自分が住んでいる区内で働く人の数は8区中最も少ない。「安芸区から働きに出ている人」が「安芸区に働きに来ている人」を大きく上回っており、ベッドタウンとしての性格が見られる。

■ 区別の産業別構成（平成27年国勢調査より：就業人口）



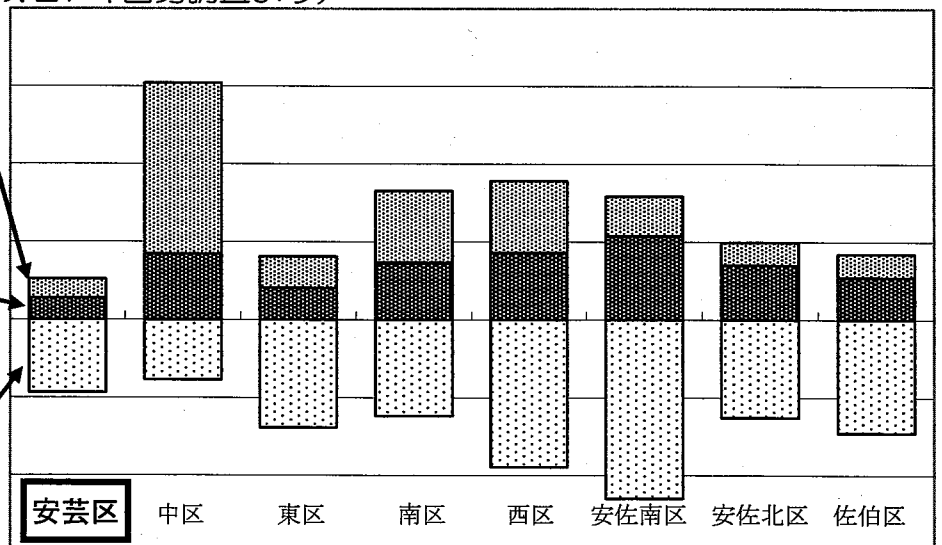
注) 総数には調査不能を含むため、必ずしも各産業の合計が100%となりません。

■ 就業者の通勤状況（平成27年国勢調査より）

区外から安芸区に働きに来ている人  
(12,226人)

安芸区に住んでいて区内で働いている人  
(13,788人)

安芸区から区外に働きに出ている人  
(46,735人)

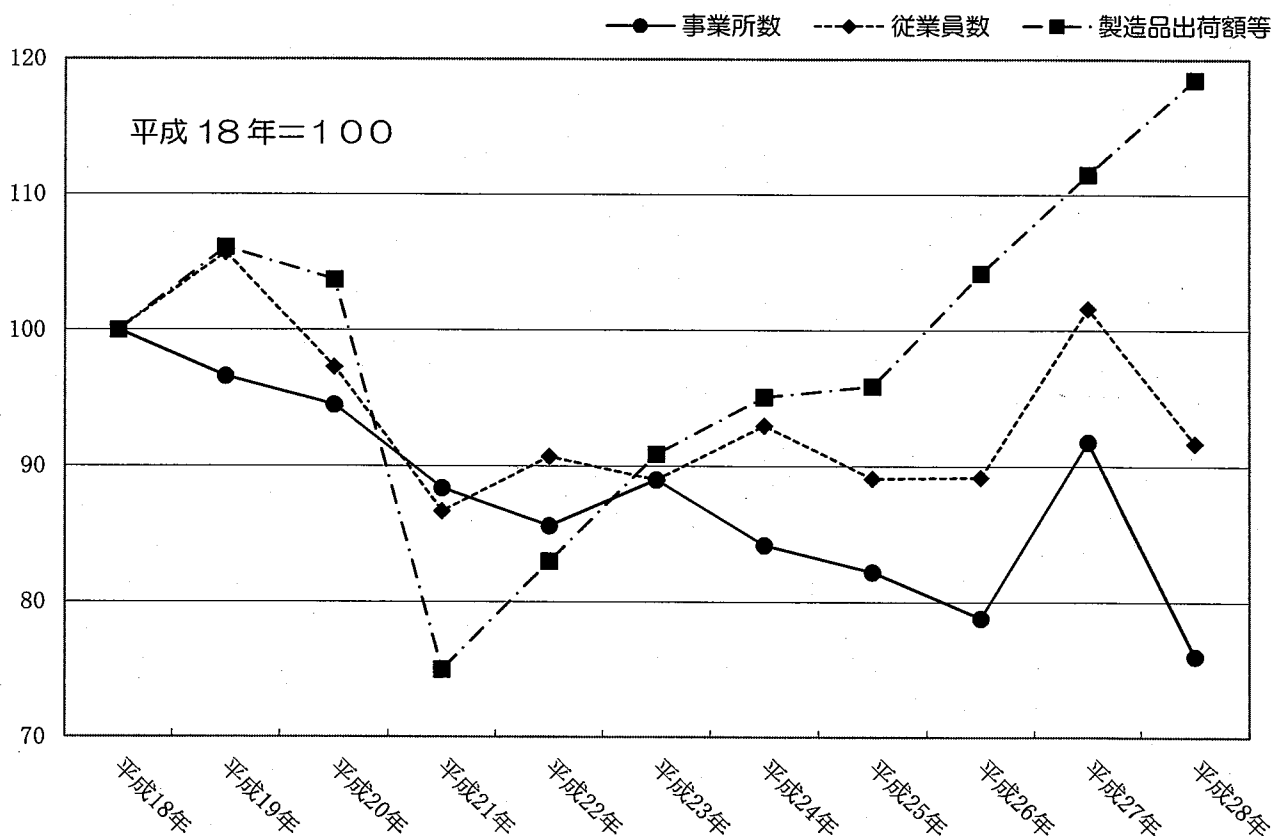


## (2) 工業の特徴

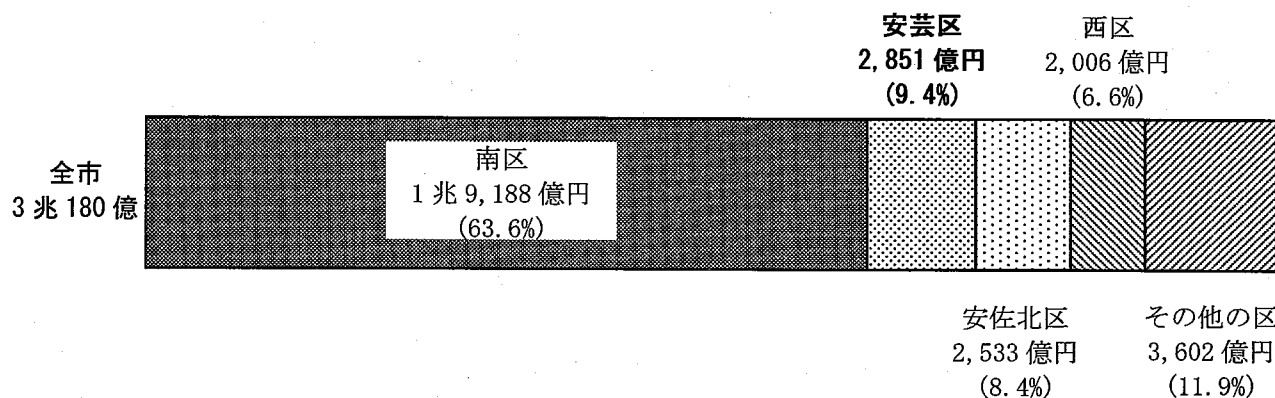
### ● 製造品出荷額は8区中2番目に多い

- ・ バブル崩壊後、低調に推移していたが、近年、製造品出荷額等が増加に転じている。
- ・ 安芸区の製造品出荷額は、約 2,851 億円で広島市全体（約 3 兆 180 億円）の 9.4% を占め、8 区の中では 2 番目に多い。また、その内訳は、生産用機械器具製造業（約 1,284 億円）と輸送用機械器具製造業（約 981 億円）で 79.4% を占めている。
- ・ 安芸区の人口 1 人当たりの製造品出荷額は南区に次いで 2 番目に多い 359 万円で、人口規模に比べて工業のウエイトが高いことがうかがえる。

■安芸区の事業所数等の推移（工業統計調査よりH18～H28）



■製造品出荷額等の広島市に占める割合（平成28年工業統計調査より）

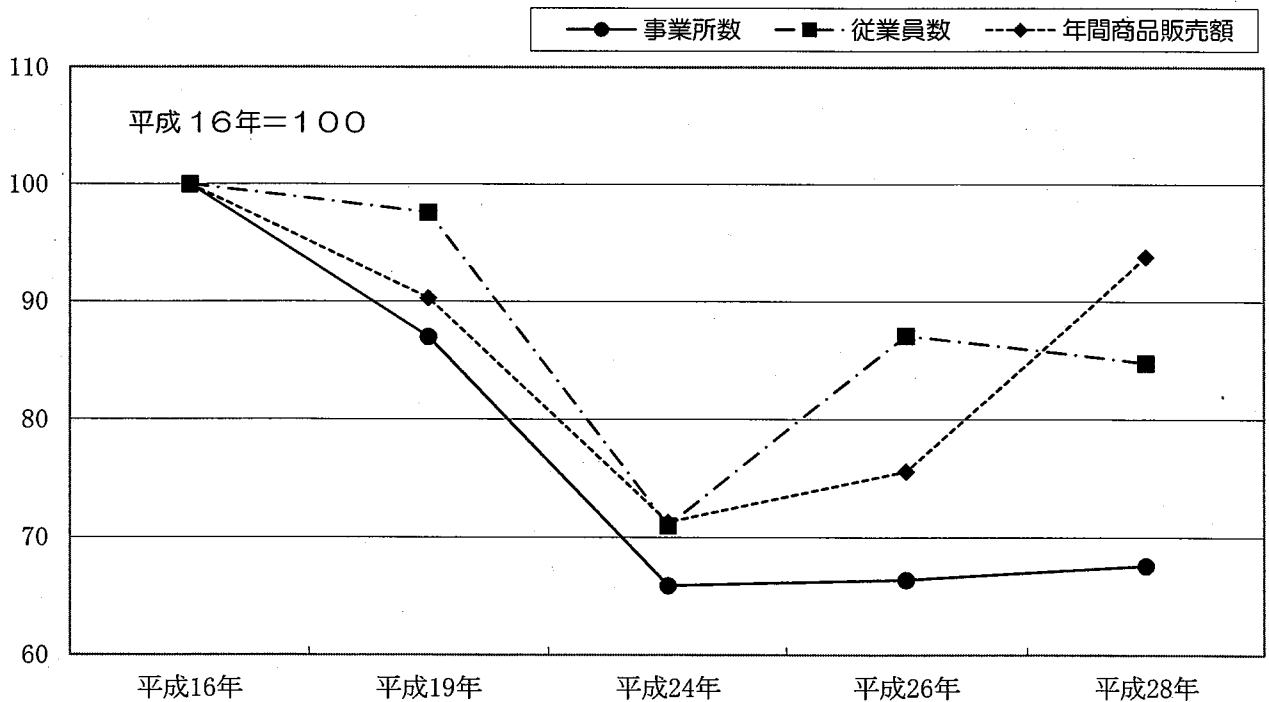


(3) 商業の特徴

● 近年の年間商品販売額が増加傾向に

- ・ 安芸区の事業所数、従業員数、年間商品販売額は、バブル崩壊以後、低調に推移し、減少傾向にある。近年の年間商品販売額は増加傾向にある。
- ・ 安芸区の年間商品販売額は、約 1,882 億円で広島市全体（約 7 兆 8,422 億円）の 2.4% を占め、8 区の中では 6 番目となっている。

■安芸区の事業所数等の推移（商業統計調査より）



■年間商品販売額の広島市に占める割合（平成28年商業統計調査より）

